

令和7年度

事業名 16 ミリ映写機操作技術講習	
期 日 ① 令和7年7月5日（土）、②8月7日（木）、③11月22日（土）	
参加者 ① 1名、②2名 ③7名（計10名）※センター職員を除く	
趣 旨 映写機の使用方法やフィルムの取扱いについての講習を行い、視聴覚教材（16 ミリフィルム）の利用促進を図る。	
活動の様子	
【内容①】〈講義・フィルム上映〉「映写機やフィルムをみてみよう」	
社会教育総合センター企画・情報班 上野 光裕	
	<p>講義では、映写機の歴史や仕組みについてスライド資料を用いて説明しました。また説明の中で「フィルムを痛めないために」を上映し、取扱いの注意点を確認しました。</p> <p>参加者は、「久しぶりに映写機に触れてみたい」、「地域のイベント企画のヒントを得たい」「昨年度も受講したが再び受講したい」と高い関心をもって応募されたこともあって、熱心に受講していました。</p> <p>この講義を通して視聴覚教材への関心をさらに高めるとともに、映写機の歴史や映写機の仕組み、またフィルムの装着時の注意点などについて理解を深めることができました。</p>
【内容②】〈実習〉「映写機やフィルムにふれてみよう」	
社会教育総合センター企画・情報班	
	<p>実習では、講義で学んだことを心掛けながら、映写機の操作を行いました。ペアやグループで互いに協力しながら、チェックシートをもとに何度も練習を行ったことで、最終テストでは全員が正しく映写機を取り扱えるようになりました。</p> <p>参加者からは、「フィルム映像のもつ温かみや良さを改めて知った。地元のイベントを企画する上でヒントとなった。」との声も聞かれました。また、講習の最後には修了証の交付を行い、今後の視聴覚教材の利用促進について、呼びかけを行いました。</p>
参加者の声	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ひさしぶりにフィルム映画を観られてなつかしさを感じました。 ・ 初めて参加しましたが、知らないことが多く、大変ためになりました。 ・ 操作、活動することによって 16 ミリ映写機のよさがより理解でき、活用してみたいと思うようになった。 ・ 1 日アナログの体験ができてとてもよかった。 ・ 30 年前に 16 ミリ映写を一度見たのを自分で映写できるのが嬉しいです。 ・ 初めての経験だったのですべてが新鮮で愉しかったです。 	